

AFS君津インターナショナルサマーキャンプ2023

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

2023年6月

公益財団法人 AFS日本協会

1. 本資料について

(1) 概要

本資料は、『君津インターナショナルサマーキャンプ2023』を開催する際に実施する新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を明記するものである。キャンプ開催におけるコロナ感染対策を文書化することにより、コロナ予防策、対応策に関する認識統一をスタッフ内、参加生（日本人中高生）内および留学生内で行い、キャンプ中に確実に実行する。また、本資料を申込希望者に提示することで、申込希望者が本キャンプに参加する際の安心材料とする。

本ガイドラインは現在(2023年6月)の新型コロナウイルス感染状況と、県・使用施設の感染拡大防止策を元に作成しており、今後の情勢の変化により改訂を行うものとする。

2. 感染防止策の方針

(1) 具体的な対策にあたっての3つの基本方針

01. 主な感染経路である飛沫感染と接触感染のリスクに応じた対策を取る

飛沫感染：室内の場合、換気の状態を考慮し人と人との距離を確保できるよう確認する。

接触感染：他者と共有する物品や手を触れる場所の頻度を考慮したうえで、対策を講じる。

02. 感染拡大に伴う開催の可否や陽性者発生時の対応は、政府・自治体などの関係機関や利用施設の方針に従う

03. キャンプの開催ができないと判断した場合、オンラインなど代替案に移行せずに中止とする

(2) 利用施設の感染拡大防止策

施設の方針は以下のとおりである。

<https://kimikame.net/importantnews/article.cgi?id=11368516>

3. 具体的な感染防止対策

(1) キャンプ前（今後変更の可能性あり）

(a) 参加生(日本人中高生)

(i) 下記2つに同意し、保護者承諾書を提出する

1) 参加規程

2) 新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

(ii) 前日に体調管理フォームを送信

※参加者の同居家族等に体調不良がある場合は参加不可

(iii) 8月3日までに以下の書類を提出

キャンプ開始日の3日以内に行ったPCRまたは抗原検査での陰性証明書、もしくは3回以上のワクチン接種証明書を写真で提出(提出方法はグーグルフォーム、詳細は参加決定後に送る「当日のご案内」メールに記載予定)

(b) 学生スタッフ

PCRまたは抗原検査での陰性証明書、もしくは3回以上のワクチン接種証明書を学生責任者に提出

(c) 留学生：キャンプ開始日の3日以内に抗原検査キットで検査を行い、結果を写真で提出

※(a),(b),(c)は今後変更の可能性あり

(2) キャンプ当日(全員共通)

(a)飛沫抑制

当キャンプでは、参加生、スタッフ共に厚生労働省の感染対策(2023年5月現在)に則り、**マスクの着用は個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断を基本とする。**(スタッフから参加生や留学生にマスクの着脱を指示することはしない。)

但し、以下の条件の下では、マスクの着用を推奨する。

- 1.屋内の活動で、参加者同士の距離が1~2mを確保できない場合
- 2.施設の医療室、医務室に立ち入る場合

(b)手洗い、手指・施設消毒の徹底

- ・使用する全ての部屋の出入り口にアルコール消毒液を設置
- ・更衣室、休憩室、待機スペースは三密を避け、高頻度接触部位(ドアノブ等)の消毒を実施

(c)換気の徹底

- ・屋内では1時間あたり5~10分の換気を行う。

(3) キャンプ後

- (i) 全キャンプ参加者(日本人中高生・留学生・スタッフ)は終了後体調報告フォームを送信
- (ii) 感染状況を確認後、学生責任者はメールにて事務局に終了報告

4. 食事・宿泊部屋・入浴時での感染防止策

(1) 食事の感染防止策

- (a) 完全個人の配膳
- (b) 配膳時はマスクを着用するか、私語を慎む

(c) 毎食事の前に手洗いと消毒を義務付ける

(2) 入浴時

(a) 入浴スケジュールの管理

(b) 脱衣所では長居をせず、会話を控える

5. キャンプ中における体調不良者への対応とフロー図

(1) 体調不良者が出た場合

(a) 咳・発熱など新型コロナウイルス感染症が疑われる症状が出た場合は、宿泊部屋に該当者を隔離し、同行の看護師と相談の上で、抗原検査を行う。

(b) 陰性の場合：体調が回復し次第団体行動に合流する

陽性だった場合：該当者の保護者に連絡し迎えに来てもらう。留学生も適切な方法で帰宅する。

※陽性者への対応について

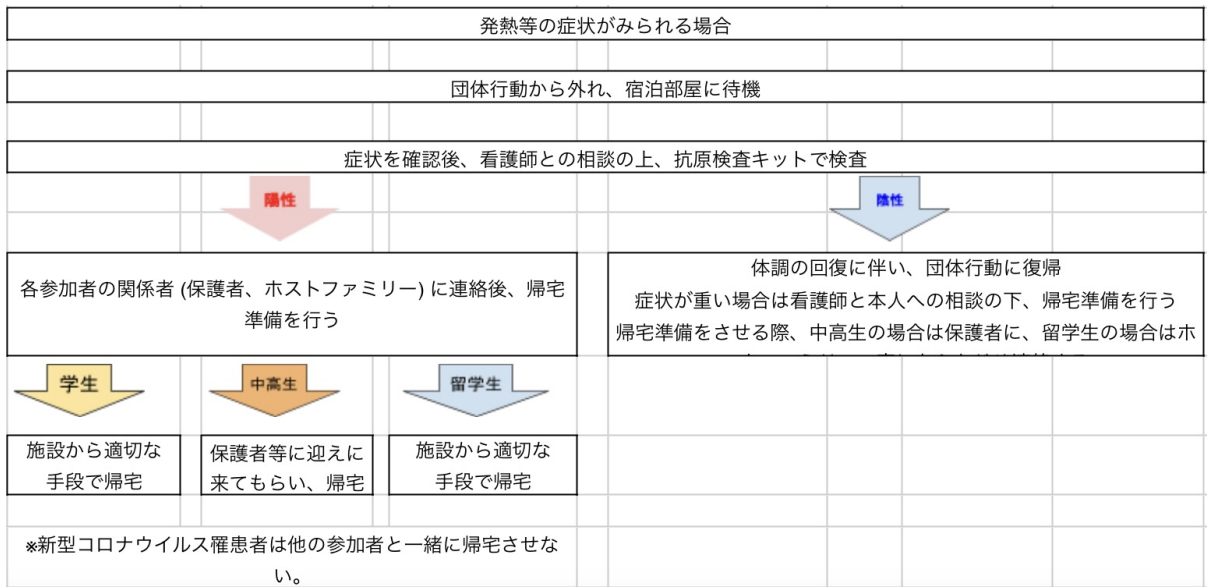
2023年5月8日以降新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行した。そのため、罹患者は、法律に基づく外出自粛をする必要はなくなり、公共交通機関を使うこともできるようになった。しかし、発症前2日間、発症後5日間の感染力は高いこと、発症した場合には発熱や咳、倦怠感などの看過できない症状が出ること、参加生やスタッフの中には重症化リスクの高い同居家族と暮らしている人がいること等の理由から、参加生及びその家族の安全のためにも、キャンプが新型コロナウイルス感染症の蔓延を引き起こしてしまう事態は防ぎたい。そのため、新型コロナウイルス感染症の罹患者と他の参加者が同じバスで帰ることは避け、新型コロナウイルス罹患者には帰宅を要請する。

(2) 対応フロー図

※上記説明を図示

◆キャンプ当日に体調不良者が出た場合の対応フロー図を、ホストファミリーや参加者、利用施設に事前説明し、対応を依頼する。

◆キャンプの実施にあたり、支部・保護者及びホストファミリーに対して様々な対応が想定されることを丁寧に説明する。事前に参加の承諾を得る。



📌 インターナショナルサマーキャンプ2023 体調不良者への対応フロー図

6. 参考

一般財団法人日本旅行業協会(JATA)「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き(第6版)」2022年12月21日(最終確認日:6月27日現在)

https://www.jata-net.or.jp/wp/wp-content/uploads/administrator/domestic_choolexcursionguide-1.pdf

公益財団法人AFS日本協会 新型コロナウイルス感染症に関する対応一国内事業・キャンプ実施方針(2023年1月10日)(最終確認日:6月27日現在)

<https://www.afs.or.jp/news-and-events/>

千葉県立君津亀山青少年自然の家「新型コロナウイルス感染症防止対策の廃止について」2023年5月3日(最終確認日:6月27日現在)

https://kimikame.net/mrmm/mediaorg/importantnews_11368516_113685164.pdf

内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長「キャンプ開催等における感染防止安全計画等について(改定その10)」2023年2月10日(最終確認日:6月27日現在)

https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimu_event_kansenboushi_anzenkeikaku_20230210.pdf

千葉県「発熱時の行動フロー・コロナかなと思ったら」(最終確認日:2023年6月27日現在)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/hatsunetsu.html>

君津市「新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に係る今後の対応等」
2023年5月8日 (最終確認日：6月27日現在)

<https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/covid-19-info/57989.html>